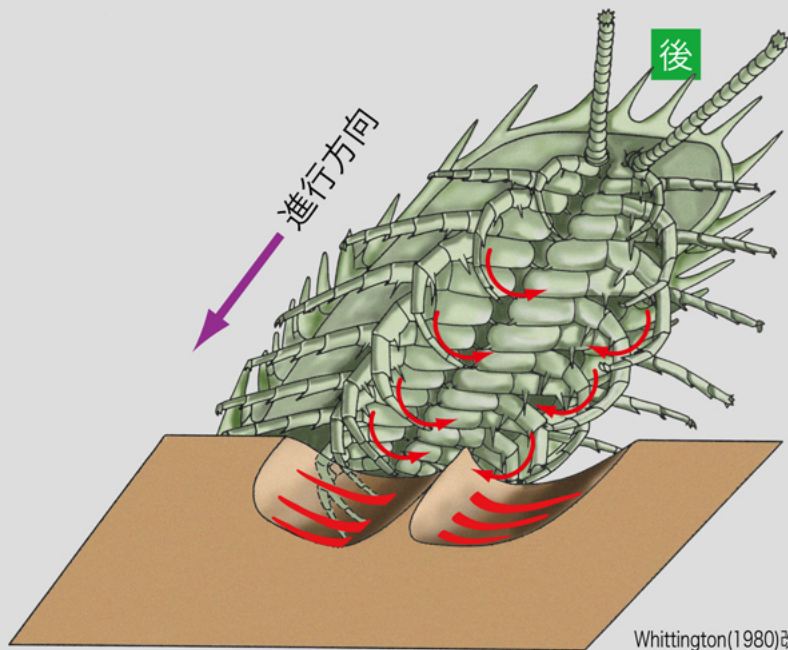


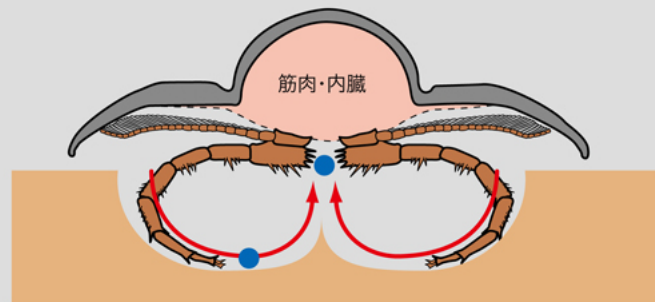
エサを探すために海底堆積物を内肢で引っかきながら前進してゆく



Whittington(1980)改作

上図と同じ様子を斜下から見た模式図。内肢が堆積物を体の中央に引き寄せるときの動きをする。外肢は描いていない。

1



左図の様子を体を輪切りにした状態で示す。見つけたエサは足の付根の内突起に引っ掛けて、口まで順送りする。

2



三葉虫が通り過ぎた後は溝となり、やがて埋まる。

3

内肢の引っかき跡



型取りされたものが化石として見つかる。化石の表面には内肢が引っかいた独特の跡が残る。